

事業評価シート（平成23年度分）

1. 事業の位置付け

事務事業名	企業立地等促進事業		
事業担当	経済部 産業振興課		
事業種類	○ハード ●ソフト		
総合計画の位置付け	'04	基本目標4 活力とにぎわいに満ちたまち	
	'01	①〈持続可能〉産業の発展を持続させる	
	'02	2 産業の経営基盤を強化する	
根拠法令等	平塚市企業立地促進補助金交付要綱、平塚市中小企業設備投資促進助成金交付要綱		
対象・受益者	市内に新たに立地する企業者及び既存企業者	事業期間	平成22年度 ～ 平成31年度
委託、協働	【委託： <input type="checkbox"/> 3セク・財団 <input type="checkbox"/> 企業 <input type="checkbox"/> NPO <input type="checkbox"/> その他】 【協働： _____】		
目的・目標		事業の概要	
企業の誘致と流出の防止、雇用機会の拡大及び企業の設備投資を促進し、工業の活性化が図られています。		工業の活性化を図るため、企業の立地に際して施設整備、環境設備、新規雇用に対する助成を行うとともに、更なる中小企業の活性化に向けて、機械装置の導入に対する助成を行います。	

2. 事業の検証

活動指標①	指標名	施設整備助成承認件数			単位	件
	説明・算定式	(平成22年度から)				
		平成21年度	平成22年度	平成23年度	平成24年度	
	目標		4	4	4	
	実績		3	1		
活動指標②	指標名	中小企業設備投資促進補助金交付件数			単位	件
	説明・算定式	(平成22年度から)				
		平成21年度	平成22年度	平成23年度	平成24年度	
	目標		10	5	5	
	実績		0	1		
成果指標①	指標名	施設整備投資額			単位	億円
	説明・算定式	10億円×2件+2億円×2件+5千万円×2件=25億円(年)(平成22年度から)				
		平成21年度	平成22年度	平成23年度	平成24年度	
	目標		60	25	25	
	実績		24	29		
成果指標②	指標名	機械装置投資額			単位	億円
	説明・算定式	5千万円×5件=2.5億円(年)(平成22年度から)				
		平成21年度	平成22年度	平成23年度	平成24年度	
	目標		5	2.5	2.5	
	実績		0	0.36		
進捗状況	③：遅れている					
	遅れている理由	制度の周知を図りましたが、支援制度を活用する企業が少なかったため				
平成23年度の主な取組と成果						
企業の誘致と流出防止策として、事業所の新增設に係る施設整備助成金3件、新規雇用助成1件と、中小企業の機械装置の導入に係る設備投資促進助成金1件を交付しました。また、施設整備助成を新たに1件認定しました。						
平成23年度の検証結果	C：十分に成果をあげることができなかった					

事業分析	項目	分析の視点	先の視点に関する分析・課題の抽出	総合評価
	必要性	<input type="checkbox"/> 市民ニーズ <input checked="" type="checkbox"/> 事業目的の達成状況 <input type="checkbox"/> 市の関与の必要性 <input type="checkbox"/> その他	設備投資促進助成、施設整備助成、環境設備助成、新規雇用助成を行うことにより、企業の立地環境の整備を図ることは、企業の新たな進出や流出防止の誘引策となります。	● 高 ○ 低
	有効性	<input type="checkbox"/> 上位施策への貢献 <input type="checkbox"/> 市民満足度を高める方策 <input checked="" type="checkbox"/> 継続による成果向上の可能性 <input type="checkbox"/> その他	本事業を実施することにより、産業の集積、高度化と雇用機会の拡大を図ることができます。	● 高 ○ 低
	妥当性	<input checked="" type="checkbox"/> 事業の目的、対象、内容 <input type="checkbox"/> 受益者負担、補助額 <input type="checkbox"/> 業務の執行体制(人員配置、業務分担) <input type="checkbox"/> その他	産業の集積及び充実を図ることにより、安定した操業の維持や雇用の拡大を図ることができるとともに、税収の確保が見込めます。	● 高 ○ 中 ○ 低
	効率性	<input checked="" type="checkbox"/> 業務プロセス改善による効率化の方策 <input type="checkbox"/> コスト削減の可能性 <input type="checkbox"/> 事業手法(民活の余地、事業形態の検討) <input type="checkbox"/> その他	申請に基づくものであり、企業訪問、平塚市工業会連合会等との情報交換、工場立地法の届出により対象企業を把握していきます。	● 高 ○ 中 ○ 低
今後に向けた課題の分析 関係機関とも協力して事業の効果的なPRを図っていく必要があります。また、企業誘致につながる支援策を検討する必要があります。				

3. 年度別事業内容・決算額

(単位:千円)

		平成21年度 決算額	平成22年度 決算額	平成23年度 決算額	平成24年度 予算額
事業内容			中小企業設備投資促進助成	中小企業設備投資促進助成、施設整備助成、環境設備助成、雇用助成	中小企業設備投資促進助成、施設整備助成、環境設備助成、雇用助成
財源内訳	国庫支出金	0	0	0	0
	県支出金	0	0	0	0
	起債	0	0	0	0
	その他 特財	0	0	0	0
	一般財源	0	0	21,622	36,953
事業費 (A)		0	0	21,622	36,953
執行率 (%)		—	0.00	100.00	
内訳	職員 (人)	0.00	0.50	0.60	0.55
	再任用 (人)	0.00	0.00	0.00	0.05
人件費 (B)		0	4,130	4,863	4,579
フルコスト (A+B)		0	4,130	26,485	41,532

4. 今後の事業展開(担当課としての提案)

平成25年度の取組方針 引き続き市内各工業会等の工業関係団体に制度の周知を図り、対象業種等も含め経済環境の変化に応じた制度の見直しを検討していきます。
課長コメント 企業に対する継続的な支援を通じて、企業の誘致と流出防止を図っていきます。経済環境の変化に応じて誘引策の拡大を検討していく必要があります。